

平成27年度 予算

一般会計117億5,970万円

平成27年度の豊前市予算は「施政方針」(4～6ページ)で紹介しました事業の推進をめざしています。

今後の国の動向、社会情勢等に注意し、厳しい財政事情の中、これまで以上に効率的な運営や経費の節減を考えていきます。

平成27年度の予算額は、一般会計が117億5,970万円で対前年度比1.5%増、特別会計等を含む総額では、185億8,098万円で同0.4%増となっています。

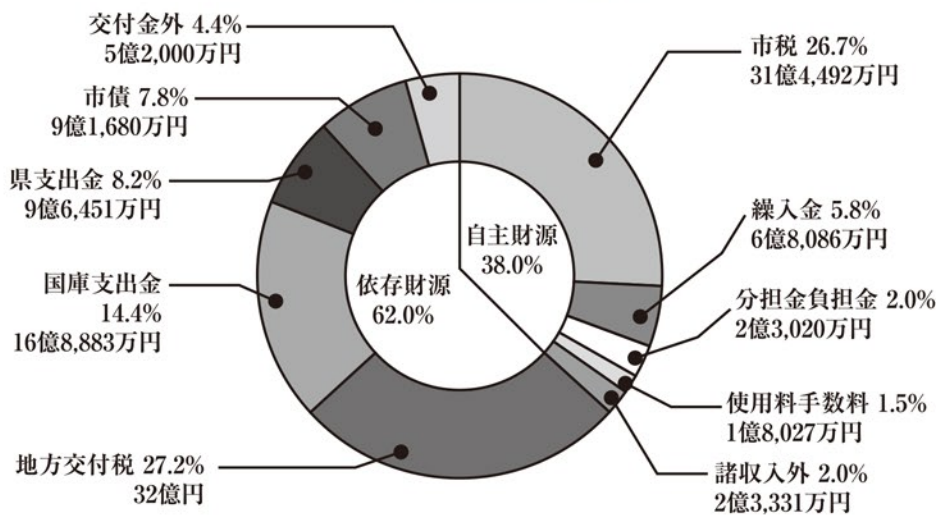
全会計予算額

(単位:万円、%)

区 分		27年度	26年度	増 減	伸 率	
一 般 会 計		117億5,970	115億9,100	1億6,870	1.5	
特別会計	国民健康保険事業	42億8,650	39億8,495	3億0,154	7.6	
	後期高齢者医療事業	4億6,502	4億4,966	1,536	3.4	
	住宅新築資金等貸付事業	70	70	0	△0.6	
	市営駐車場事業	880	860	20	2.3	
	バス事業	5,751	3,628	2,122	58.5	
	工業用地造成事業	2億7,574	5億7,315	△2億9,742	△51.9	
企業会計	水道事業	7億7,466	7億3,176	4,290	5.9	
	東部地区工業用水道事業	3,349	2,637	713	27.0	
	下水道事業	公共下水道事業	8億7,171	10億5,461	△1億8,290	△17.3
		農業集落排水施設事業	4,717	4,708	9	0.2
総 額		185億8,098	185億0,416	7,682	0.4	

※表示単位未満は四捨五入のため、計算式に一致しない箇所があります。

歳入予算の内訳



一般会計予算の概要

歳入 市税は市民税が法人税等の増加により3,043万円の増、固定資産税が償却資産等の減少により1,813万円の減、全体では対前年度比0.3%(1,021万円)の増収を見込んでいます。

地方交付税は2.4%(8,000万円)の減、国庫支出金は2.4%(3,945万円)の増、市債は総額で7.9%(6,710万円)の増となりました。

歳出 義務的経費については人件費が4.6%(8,195万円)の増、扶助費が生活保護費等の減のため2.2%(6,658万円)の減、公債費が3.9%(5,092万円)の減となりました。

投資的経費については、小・中学校体育館天井等改修工事の増等により、2.8%(3,112万円)の増となりました。

予算用語解説

自主財源と依存財源

歳入(収入)でよく使われるのが「自主財源」と「依存財源」です。

自主財源は、市税のように市が自主的に調達できる財源です。

依存財源は、国や県の意思により定められた額を交付されたり割り当てられたりする財源です。

自主財源の比率が大きいほど行政の自主性が確保されます。

性質別分類と目的別分類

歳出(支出)の見方として予算を使う性質ごとに分類した「性質別分類」と使う目的ごとに分類した「目的別分類」の二つがあります。

性質別分類は、市の財政運営や経済的機能状況を知ることができます。

目的別分類は、どのような事業にいくら使うかを知ることができます。

歳出予算の内訳

■性質別歳出分類

義務的経費 (51.2%)			投資的経費 (9.7%)		その他の経費 (39.1%)	
<p>扶助費 29億1,843万円 (24.8%)</p> <p>高齢者、障害者、児童、生活保護者の方を援助するために使います。</p>	<p>人件費 18億6,242万円 (15.8%)</p> <p>市長、市職員等の給与退職金、議員・各種委員の報酬などに使います。</p>	<p>公債費 12億4,357万円 (10.6%)</p> <p>市債(借入金)の元利償還金、一時借入金の利子に使います。</p>	<p>普通建設事業費等 11億3,479万円 (9.7%)</p> <p>道路、公園、学校など、将来に残る施設を建設するために使います。</p>	<p>補助費等 16億8,134万円 (14.3%)</p> <p>一部事務組合負担金や各種団体への補助金などに使います。</p>	<p>物件費 14億5,835万円 (12.4%)</p> <p>電算の委託料や光熱水費等に使います。</p>	<p>繰出金 12億2,020万円 (10.4%)</p> <p>国民健康保険事業会計等の他会計を補助するために使います。</p>

投資出資及び貸付金、維持補修費、積立金など
2億4,060万円 (2.0%)

■目的別歳出分類

<p>民生費 47億5,582万円 (40.4%)</p> <p>高齢者、障害者、児童、生活保護者の方の社会福祉事業のために使います。</p>	<p>公債費 12億4,357万円 (10.6%)</p> <p>市債(借入金)の元利償還金、一時借入金の利子に使います。</p>	<p>総務費 11億4,737万円 (9.8%)</p> <p>市役所の一般的な事務経費や選挙などに使います。</p>	<p>教育費 10億8,676万円 (9.2%)</p> <p>小・中学校などの維持管理等に使います。</p>	<p>土木費 10億7,773万円 (9.2)</p> <p>道路、橋、公園、市営住宅などの維持管理、整備のために使います。</p>	<p>衛生費 9億6,202万円 (8.2%)</p> <p>ごみ、し尿処理、保健衛生などに使います。</p>	<p>議会費、労働費、商工費、消防費、災害復旧費など 8億7,409万円 (7.4%)</p>
--	--	--	--	---	--	--

農林水産業費
6億1,234万円 (5.2%)

平成27年度予算の主な事業

第5次豊前市総合計画の着実な実現に向け、27年度に取り組む主な事業とその予算額の一部を紹介します。

◎安全・安心なまちづくり

市民の生命・財産を守るべく災害対策の強化に努めます

小・中学校体育館天井等改修工事

事業費 1億4,110万円

小中学校の体育館の天井と照明器具を改修し、児童・生徒の安全・安心を図ります。(学校教育課)

地域防災計画見直し業務

事業費 1,134万円

大幅な防災計画の見直しと防災ハザードマップの改訂を行います。(総務課)

◎都市基盤の整備

インフラ整備を図り、暮らしやすいまちを創出します

上町～沓川池線街路事業

事業費 1億4,235万円

上町～沓川池線の整備を継続し、早期の全線開通を目指します(まちづくり課)

集落基盤整備事業

事業費 6,500万円

基幹水路、農道、集落道、防火水槽を計画的に整備します。(農林水産課)

◎産業の振興

観光拠点の整備、地産地消の取り組み、企業誘致により産業の振興に努めます

総合交流促進施設改修事業

事業費 2,980万円

総合交流促進施設(ト仙の郷)を改修します。(農林水産課)

地域おこし協力隊活用事業

事業費 1,368万円

地域おこし協力隊を活用し、水産業や観光業の振興を図り地域の活性化を目指します。(農林水産課・まちづくり課)

◎健康・福祉の充実

誰もが健康で幸せに暮らせる元気なまちづくりを目指します

臨時福祉給付金等給付事業

事業費 5,237万円

消費税率の引き上げに伴う影響を緩和するため、市民税均等割の非課税者及び子育て世帯へ給付金を支給します(福祉課)

在宅歯科訪問事業

事業費 3,519万円

外来受診の困難な高齢者の方などに訪問歯科診療や専門的口腔ケア、保健指導等を行い、口腔機能維持や栄養改善を図りながら生活の維持向上を図ります。あわせて将来的に継ぎ目の無い地域保健体制を確立するため基礎情報を収集し、システムを構築します。(市民課)

◎ぶぜん未来応援プラン

人口の流出を抑制し定住化を促進していくとともに、未来を担う子どもの健全な育成を支援します

乳幼児・こども医療費支給事業

事業費 8,628万円

従来のこども医療費の助成を拡充し、小・中学生の通院の医療負担を軽減します。(市民課)

放課後支援事業

事業費 364万円

小学生の学力向上に向けて、平日の放課後を活用し、授業の補充学習を行います。(学校教育課)

事業継続中の事業

新婚家庭家賃助成交付事業	(総合政策課)
地域子育て支援センター事業	(福祉課)
第3子以降保険料無料化事業	(//)
病後児保育事業	(//)
放課後児童クラブ事業	(//)
知育絵本プレゼント事業	(健康長寿推進課)
第3子以降幼稚園就園支援事業	(学校教育課)
教育力向上事業・学び支援事業	(//)
子ども文化事業・子ども夢応援事業	(生涯学習課)